

報道機関各位

9月24日から9月30日は結核予防週間です

結核は昔の病気ではありません。

今でも国内で年間15,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が命を落としている日本の主要な感染症のひとつです。

- ◎結核の症状（長引く咳・タン、微熱、体のだるさなど）には、特徴的なものはなく、早期には目立たないことが多いため、とくに高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。
- ◎結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結果、結核菌を吸い込むことにより、周りの人に感染が広がります。
- ◎結核と診断されても、治療を始めれば1~2か月で周りの人に感染させることはなくなり、6~9か月の治療期間、医師の指示どおり毎日きちんと薬を飲めば治ります。

早めに医療機関を受診することが必要です。

早期発見・早期治療のためにも毎年結核検診を受けましょう。

- ◎近いうちに日本で生活をする人をはじめ、すでに日本で生活している人、今後日本へ訪れる予定のある人等すべての人が、学校での定期健康診断や雇入れ時及び定期健康診断等の機会を通じ結核検診を受けていただけるようすべての人に声をかけましょう。

添付資料 有 無 

健康推進課 健康づくり支援係
(課長) 柴宮 まゆみ (担当) 黒澤 みどり
電話: 0265-79-3111 (内線) 120
FAX: 0265-79-0230
E-mail: kenko@town.minowa.lg.jp